

児童が「分かる」「できる」運動の場づくり —中学校教員とのTT授業等を通して—

福山市立光小学校
児童数 368人
TEL 084-923-1528

実践内容

実施目的

本市小中一貫教育の取組により、本校では昨年度から中学校保健体育科教員による乗り入れ授業を実施している。

中学校教員による運動の行い方や課題解決の方法について、専門的指導を受けることで、昨年度は新体力テストの結果や児童の運動意欲向上において成果が表れた。本年度は、小中一貫教育の取組を進め、体育科の授業改善、児童の運動習慣の確立、地域・保護者との連携をより一層充実・発展させていくこととした。

実施内容

1. 中学校保健体育科教員との連携

①「分かる」「できる」体育科授業

- ・小中一貫教育により週に1日、鷹取中保健体育科教員が本校で指導を行っている。運動の行い方や課題解決の方法を示すことで、児童は互いの動きに学ぼうとする姿勢が高まり、「分かった」「できた」を実感し、達成感が増した。
- ・小学校教員も中学校保健体育科教員から運動課題について思考する授業づくりを学び、TT以外の授業においても児童が「分かる」「できる」授業に取り組んだ。

②運動量を確保する体育科授業

- ・体育授業前には必ず学校遊具等を活用したサーキットトレーニングを実施している。
- ・動きのポイントや練習の仕方の工夫について思考する学習場面を保障しつつ、運動量を確保する授業に努めた。

③お互いを励まし合いながら伸びる集団づくり

- ・運動が苦手な児童も進んで取り組めるよう、互いの違いを認め、励まし合える集団づくりに努めた。このことにより、新体力テスト当日においても児童どうしが声を掛

け合い、雰囲気盛り上げる光景が随所に見られた。

2. 運動意欲の向上

①外遊びの奨励

- ・大休憩、昼休憩等は多くの児童が外遊びを行っている。教職員も児童と一緒に遊ぶことで自ら運動に親しむ姿を示し、他者とかかわる運動の楽しさを児童と共有し合う。
- ・委員会活動で「全校遊び」の企画、運動の紹介などに取り組んだ。
- ・クラス対抗長縄跳び競争「ひかりピック」を開催し、全校で運動に親しむ機会を増やした。

②地域・保護者との連携

- ・本学区は体育会を中心に運動の盛んな地域であるが、教職員も行事に参加し、運動を楽しんだ。
- ・「体力向上ステップアップカード」をもとに保護者に情報を提示し、児童と話をすることで、さらに高い目標設定の場としている。

実施上で工夫したこと

1. 授業においては「個別の目標」を重要視し、その目標の達成に向けた課題解決を図る思考のポイントを明示しながら、児童個々の「伸び」に着目した指導を継続した。

2. 中学校教員と合同で体育科授業研究を実施し、校区公開研究会でも授業公開を行い、「学びのある体育科授業づくり」に努めた。

2. 児童の運動意欲向上

担任も含めて学級全員で運動に親しむ風土づくりは、運動が苦手な児童も「やってみよう」という意欲づくりにおいて大きな効果があった。共感的人間関係をつくり、外遊びを楽しむ児童の増加につながった。

3. 中学校区全体としての体力向上

中学校教員を核にした取組は本校のみならず、校区内小中学校の体力づくりにおける一定の成果につながった。

主な成果

1. 継続した体力づくりの実施

- ・数年前から、年間2回の新体力テスト実施を計画した。このことにより、一時期だけでなく、5月の新体力テストの課題をふまえ、年間通じての体力向上の取組を全校で計画的に実施することにつながった。1月にはほぼ全ての学年・項目で県平均を上回る事ができた。



体育授業前のサーキットトレーニング

ウォーミングアップも兼ねていろいろな運動に取り組みます



お互いの動きに学ぶ授業づくり

仲間のよさに気付けるようお互いの動きをしっかりと見ます



運動の盛んな地域のなかで

地域の体育的行事に多くの児童が参加しています



小中連携による専門的指導

中学校保健体育科教員と小学校担任でTTを実施しています



元気いっぱい外遊び

休憩時間は多くの児童と先生が元気に遊びます



教職員も運動大好き!

バレーボールなど地域の行事にも参加しています

全校児童における総合評価A Bの割合(%)の推移

